

令和3年度 諏訪市総合教育会議

日時 令和3年9月21日（火） 午後1時30分
会場 諏訪市役所5階 大会議室

【次 第】

1. 開 会

2. あいさつ

・ 市 長

・ 教 育 長

3. 議 題

テーマⅠ 未来創造ゆめスクールプランの現状について

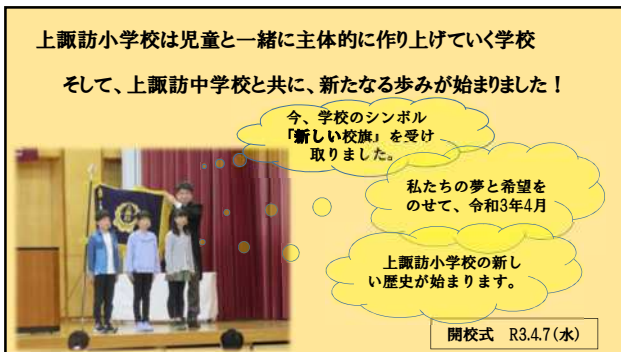
(1) 上諏訪小学校及び上諏訪中学校で始まった小中一貫教育の状況について

(2) 南部地区を進めていく上での課題等について

テーマⅡ 成年年齢が18歳に引き下げられた後の成人式について

その他

4. 閉 会

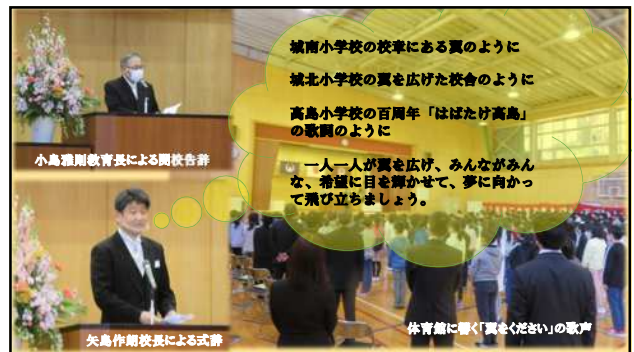


今、学校のシンボル「新しい校旗」を受け取りました。

私たちの夢と希望をのせて、令和3年4月

上諏訪小学校の新しい歴史が始まります。

開校式 R3.4.7(水)



城南小学校の校章にある翼のように
城北小学校の翼を広げた校舎のように
高島小学校の百周年「はばたけ高島」の歌謡のように

一人一人が翼を広げ、みんながみんな、希望に目を輝かせて、夢に向かって飛び立ちましょう。

小島雅剛教育長による開校告辞

矢島作輔校長による式辞

体育館に響く「翼をください」の歌声



委嘱状の交付 第1回 令和元年5月28日(火)

活発な意見交換、提言 第2回 令和元年7月17日(水)

すわっちゃオにて 第8回 令和2年1月22日(水)

正副委員長選出 第1回 令和元年5月28日(火)

“ゆめスクール第一期 東部地区第一”推進委員会

R元.5.28～R3.6.25



「小学校の気持ちに心を寄せる機会が増える。思いやりのある温かい心を持って欲しい。」

「自らを拓き 未来を生きる」上諏訪小学校と同じ学校教育目標に向かって歩みます。」

R3.4.6(火)

小中一貫教育では必須！
上諏訪小・中合同職員会
(R3.4.2 上諏訪中)



職員会の冒頭、小島教育長より、諏訪市の小中一貫教育の願いをあらためて伺う。

技術・家庭科の教科会
算数・数学科・英語科の教科会

上諏訪中学校でオリエンテーション

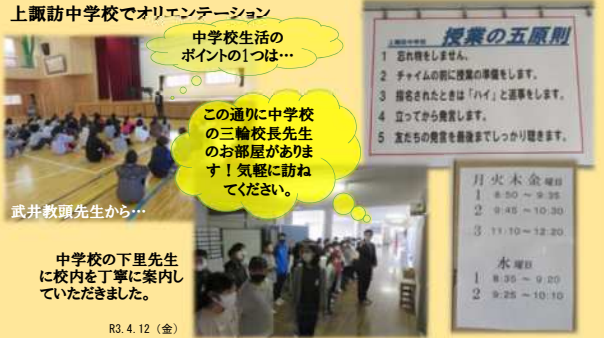
中学校生活のポイントの1つは…

この通り中学校の三輪校長先生のお部屋があります！気軽に訪ねてください。

武井教頭先生から…

中学校の下里先生に校内を丁寧に案内していただきました。

R3.4.12 (金)



授業の五原則

- 忘れ物しません。
- チャイムの前に授業の準備をします。
- 指名されたときは「ハイ」と返事をします。
- 立ってから発言します。
- 友だちの発言も最後までしっかり聴きます。

月 火 水 金 曜日
1 8:50 ~ 9:35
2 9:45 ~ 10:30
3 11:10 ~ 12:20

水曜日
1 8:35 ~ 9:00
2 9:25 ~ 10:10


☆特色 その1 教師の専門性を活かして、確かな学力の定着につなげるために、学習内容や授業形態などカリキュラムを工夫します。

・小中9年間で学ぶ学習内容の系統性(つながり)を重視し、教科の見方・考え方を深く学べるように工夫し、多様な学びの中で、学力の向上を図る。

・つまずきやすい算数・数学、英語などでは、学年をつなぐジョイントカリキュラム(繰り返し学習を含む)による学習やT-Tを取り入れた授業の実践。

・全教科や領域の学習において、「伝えあう力」を大切に授業を行う。

各教科等の指導内容
カリキュラム概要



令和3年度 側近型小中一貫教育
諏訪市立上諏訪小学校
諏訪市立上諏訪中学校

教科等学習内容系統配列一覧表

教科の目標や見方・考え方、「伝えあう力」を支える視点等

高等学校の学習内容

算数・数学と実社会

小1~中9の学習内容のつながり

☆ジョイントカリキュラムの策定にも中学校での学習でつまずきやすい内容などから、小中学校間の学習内容の取り上げ方や順序を整理し、学び方の連続性を実現することになる。

☆特色 その2 小学校から中学校へのスムーズな移行のために、複数の目で共に子どもたちと関わります。

・小・中学校の教員が可能な教科で、相互に学校に入って授業を行っています。

・6年生が中学校で下記の時間割で授業を受けています。

【6年1部】						【6年2部】					
月	火	水	木	金		月	火	水	木	金	
1校時	算数	算数	*	算数	*	1校時	英語	*	算数	英語	算数
2校時	英語	*	算数	英語	算数	2校時	算数	算数	*	算数	*
3校時					家庭	3校時	家庭				
4校時					家庭	4校時	家庭				

☆6年生の授業
・教科担任 中学校教員 算数、英語(T-T)、家庭
小学校専科教員 理科、音楽

☆5年生の授業
・教科担任 中学校教員 家庭
小学校専科教員 理科、音楽

☆小学校の教員の中学校への乗り入れ
・6年学級担任 社会、数学(T-T)

長野日報R3.4.14 (水)

6年生に中学教員が算数・英語の授業
「小中一貫教育」がスタート

「中学校での初めての授業で緊張した。小学校と授業時間は同じでも、進め方が早くアツという間に終わった感じがする。これからの授業が楽しみ。」

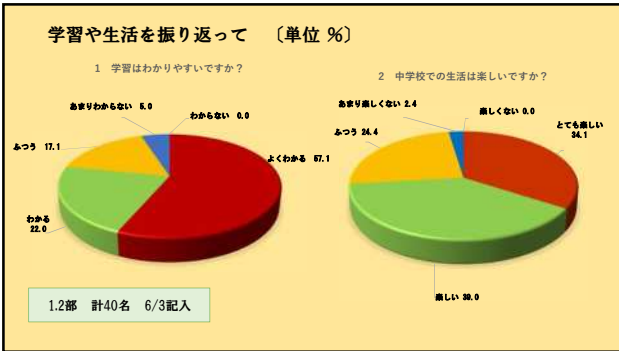
小学校45分、中学校50分の授業時間のため、6年生のいる間は、チャイムがなりません！チャイムでも、しっかりと学べます。

緊張したけど分かりやすかった。プリントを使って勉強すると成果が上がっている感じがしてよかった。



4月から始まった中学校での学習や生活を振り返って(感想)

- 算数とかでは、いつもよりもスピードがとて早くなったけど、しっかりと理解しているからそのまま続けている。英語では、苦手だけど何回も同じことを言っているので、結構分かっている。はじめ、行くのは少し大変だったけど、今は結構慣れている。算数は、とても苦手だったけど今はとても楽しい。
- 算数や家庭科、英語などの授業をするのが楽しいです。どの先生も、面白くて優しく、分かり易く教えてくれるからです。勉強や宿題は、難しいけど、授業でやったことをやるので、すぐに分かります。毎日授業をしに行くのが楽しみになります。もう少し発言できるといいです。これからも、授業を頑張りたいです。
- 中学では、算数でまず先生と一緒にドリルをやっていたことも復習できて、もう1枚できているか確認できるから分かり易いです。生活では、毎日大変で疲れているけど、やることはやって、自分へのご褒美?などをつくって発散しています。6年生は大変だけど楽しいです。(R3.4.24)



☆特色その3 互いの結びつきを深め、憧れや思いやりの心を育むために、小中学生が、異年齢集団で学習したり交流したりします。

- 小・中学生が様々な場面で、共に学ぶ機会の充実を図ります。
- アフタースクール(例えば、部活動、放課後学習、地域の行事や文化活動)の活動を通して、児童生徒はもとより、地域との結びつきを深めます。

図書委員会主催
"読み聞かせ" 3.6.22(火)

校友会主催
"勉強お助け隊" 3.8.2(月)

上諏訪中学校での小6~中3合同の避難訓練
(R3.4.16(金)上諏訪中にて)

自分の身だけでなく、他の人(下級生)の身を守る強い自分になりたい。

6年生も参加するようになったため、校庭に移動する優先順位を今まで以上に心がけたい。

チャレンジショップに向けてのマーケティング!!
(R3.5.7(金))

買うとすれば、300円以内かな?花やかかわいい動物のデザインならいいな...

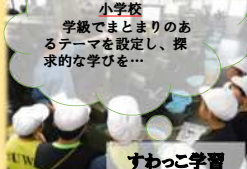
普段使っているデザインのストラップが欲しいな!

ウーン?何が良さそう...

☆特色 その4 **社会を見つめ、自己理解を深めるために、諏訪を探究的に学び、諏訪に生きる誇りと志を育みます。**

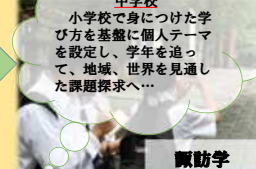
小学校「すわっこ学習」・中学校「諏訪学」の「ふるさと学習」で、諏訪地方独自の歴史や文化、自然を学びながら、地域や世界を見通した課題探究へつなげる。

小学校
学級でまとまりのあるテーマを設定し、探求的な学びを…



すわっこ学習

中学校
小学校で身につけた学び方を基盤に個人テーマを設定し、学年を追って、地域、世界を見通した課題探究へ…



諏訪学

☆特色その5 **「人の温かさ、やさしさ」「心のふるさと諏訪」に触れる一助とするために、地域協働の学校づくりを更に深化・発展させます。**

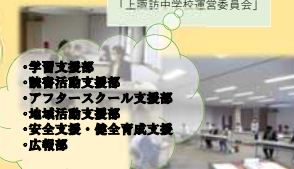
・中学校区の信州型コミュニティスクール(CS)の充実による地域連携を拡充。
・新たな学校づくりを通して、地域の方々と学校が協働して、魅力ある学びのまちづくりの推進

「上諏訪中学校運営委員会」

- ・学習支援「ちよこさが」
- ・読書活動支援「かじの葉」
- ・安全支援「きよらぶら運動」
- ・地域つながり支援「わくわく上諏訪サロン」
- ・親睦支援「上諏訪親父会」

「上諏訪CS運営委員会」ボランティア 参加依頼

- ・学習支援部
- ・読書活動支援部
- ・アフタースクール支援部
- ・地域活動支援部
- ・安全支援・健全育成支援
- ・広報部




「自らを拓き、未来を生きる」子どもの育成を目指し、新しい教育、学校づくりを！

未来創造ゆめスクールプラン
「小中一貫教育プロジェクト推進委員会」の発足

小中一貫教育プロジェクト推進委員会

- ☆**学力・資質向上 分科会**
 - ・9年間の学習内容を系統性と一貫性を視点を持った編成
 - ・教科のつまずきを克服する、ジョイント・カリキュラムの作成
 - ・『伝えあう力』を育む授業の構想
- ☆**交流 分科会**
 - ・実施可能な交流活動についてリストアップし、具体的な実施に向けての計画を策定。
 - ・インクルーシブ教育の対応
 - ・CSとの協働の検討

諏訪市の施設分離型小中一貫教育の教育課程の構築を目指します。

- ・小・中遠隔授業、会議システムの構築
- ・タブレットPC、電子黒板等のICT整備及び活用方法
- ※ソフト、ハード両面の整備

“ゆめスクールプラン”
関わる全ての皆さんの英知を結集して！



ありがとうございました。

「未来創造ゆめスクールプラン」南部地区を進めていく上での課題等について

1. 施設整備について

＜施設・立地の概要＞ ※建築年は施設内で最長の建物を記載

- ①四賀小学校 S43年建（築53年）急傾斜地（校舎の一部は土砂災害特別警戒区域）
- ②中洲小学校 S48年建（築48年）ハザードマップ上の浸水予想【0.2～0.5m】
- ③諏訪南中学校 S60年建（築36年）ハザードマップ上の浸水予想【1.0～2.0m】

■3校の老朽化に伴い、施設整備が必要となることが想定される

（〔一体型〕◆新校舎建設、〔分離型〕◆現施設大規模改修、◆現地建替え）



【課題】

■南部地区の小中一貫教育を重点的に進めるためには、R5年度から随時開始予定の分離型一貫教育の実施と並行して、施設面を考慮した再編手法（施設一体型、隣接型、分離型）を検討する必要がある。その際には、現施設の老朽度から、施設の大規模改修又は新築が必要となることが想定される。

⇒ 【施設一体型】場所・用地を含めた施設規模・財源・スケジュールの検討が必要

⇒ 【施設分離型】財源・スケジュールの検討が必要

2. 通学区について

＜現在の通学区＞

◆現状において、四賀小学校が居住地によって2つの中学校への進学となる

四賀小学校 ⇒ 諏訪南中学校、諏訪中学校（武津、細久保、普門寺）

中洲小学校 ⇒ 諏訪南中学校（全地区）



【課題】

■武津、細久保、普門寺地区の現状における意向確認（区・保護者・児童など）

■通学区の変更の可否決定に係るスケジュール、選択制の導入についての検討

3. 検討組織について

【課題】

■再編の手法と併せて施設整備を伴うことが想定されることから、長期的な計画となる可能性があり、組織委員任期の長期化が懸念される。

⇒ 計画が具体化した時点での推進委員会等の立ち上げを検討



- ①南部地区に関係するPTA、地区、同窓会などに対し、個別に意見等を聴取する
- ②意見集約し、教育委員会としての素案決定（事業実施に向け庁内体制整備の構築）
- ③南部地区学校再編推進委員会（仮称）の設置

成年年齢が 18 歳に引き下げられた後の成人式について

概要

- ・令和 4 年（2022 年）4 月 1 日から、民法の一部を改正する法律が施行され、成年年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられます。
- ・成年年齢の引き下げに伴い、諏訪市としての「成人」の位置づけや意義を考えるとともに、成人式の主旨やねらい、対象年齢や開催時期等について検討し、方針を定める必要があります。

■諏訪市成人式の現状

主 旨：大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人を祝い、励ますとともに、お世話になった人に感謝し、成人としての自覚や責任を改めて認識する機会としてもらうため。

対象者：開催年度内に 20 歳に到達する諏訪市在住者、諏訪市出身者

開催時期：毎年 1 月（成人の日の前日）

内 容：式典（式辞、お祝いの言葉など）、アトラクション（太鼓、スライドショー上映）、記念写真撮影

■これまでの検討の経過

令和元年 9 月 1 日～10 月 31 日 市民等を対象に成年年齢引き下げに伴うアンケートを実施

令和元年 12 月 3 日 アンケート結果をプレスリリース

令和元年 12 月 13 日 12 月の定例教育委員会でアンケートの結果を報告、議論

令和 2 年 1 月 11 日 令和元年度成人式の新成人スタッフと意見交換

令和 2 年 1 月 23 日～2 月 7 日 令和元年度成人式の新成人スタッフにアンケート調査を実施

令和 3 年 3 月 社会教育委員に意見聴取

■成年年齢引き下げで変わること

1. 18 歳（成年）になったらできること

- ・選挙権を有する（平成 27 年 6 月公職選挙法等の改正による）
- ・親の同意がなくても契約できる
携帯電話の契約、ローンを組む、クレジットカードをつくる、一人暮らしの部屋を借りる
- ・10 年有効のパスポートを取得する など

2. 20 歳にならないとできないこと（これまでと変わらないこと）

- ・飲酒をする ・喫煙をする
- ・競馬、競輪、オートレース、競艇の投票券（馬券など）を買う など

■諏訪市としての成人の位置づけ

○18 歳

- ・民法上の成人として、選挙権や契約行為の行使ができるといった社会的責任を自覚すべき時期。
- ・諏訪市としては、成人になったことを歓迎し啓発する時期。

○20 歳

- ・就職、進学などそれぞれの道を歩み始めて大人への自覚や成長を体験し、人生における今後の目標や決意を再確認する時期。
- ・諏訪市としては、諏訪の魅力を発信し、これからの社会人としての歩みを応援する時期。願わくば諏訪で生きていくことを選択してもらいたい。

■成人が集う意義

○18 歳

- ・社会的責任を自覚すべき時期においては、受験や就職活動の最中に集うことより、ひとりひとりに情報を届けることが重要。

○20 歳

- ・様々な経験をしたうえで旧友と諏訪で集い、友達の生き方に触れ自分の生き方を見つめられること、家族や地域社会へ改めて感謝の思いが抱けること、ふるさと諏訪の良さに触れることができる。

■令和 4 年度以降、諏訪市において成人を祝い励ます手段

○成人を祝うサードブックプレゼント&成人に伴う啓発パンフレット配布

- ・趣旨 高校生の読書推進も兼ねて本を贈呈し、成人を祝い人生の選択に役立ててもらう。
社会的責任を自覚するきっかけとして、啓発パンフレットを同時に配布する。
- ・対象者 実施年度内に 18 歳に到達する諏訪市在住者
(・時期 夏休みごろか)

○二十歳の集い

- ・趣旨 各々の道を歩み始めた 20 歳の同学年がふるさとに集う機会を設け、諏訪の魅力を発信し、社会人として歩み出す若者を地域全体で応援し、人生の今後の目標や決意を再確認してもらう。
- ・対象者 開催時期に 20 歳に到達している同学年の諏訪市在住者、諏訪市出身者
(・時期 5 月 ※現時点ではコロナ禍を想定し会場の換気条件を考慮、全員飲酒可、晴着可)
(・会場 諏訪市文化センター(改修等使用不可の場合、別途検討))
(・内容 (例) 諏訪の魅力動画上映、諏訪で働く先輩のメッセージ動画上映、市内企業からプレゼント、市内飲食店から 20 歳応援割引券プレゼント、等)

補 足

1. 令和元年 12 月定例教育委員会における議論

【主な意見】

- ・ 18 歳で成人を祝うことは筋が通るが、現実問題としては難しい。
- ・ 諏訪市としての成人の意義づけをすべき。
- ・ 立場や個々の都合で、18 歳がいいか、20 歳がいいかは異なるもの。
- ・ 成人とは何か、をまず考え、式の在り方、やるとしたどの時期が良いか、を順に考えないと論点が定まらない。
- ・ 成人としての「区切り」は大切。
- ・ 20 歳には、就職、進学、方向が決められない人など様々な仲間が集い情報交換し、自分で歩み出す、足元を見直すことに意味がある。

→ 諏訪市としての「成人」の位置づけ、意義を検討し、それに応じ、何歳で行うべきか、いつ行うのがよいかを考える、という方向を確認。

2. 成年年齢引き下げに伴う令和 4 年度成人式開催のアンケート結果（一部抜粋）

令和元年 9 月 1 日～10 月 31 日にかけて、諏訪市民等を対象にアンケート調査を実施済。
回答数は 198 件。

〈質問 1〉 成年年齢の引き下げに伴い成人式の対象年齢について何歳が適当か。

【18 歳】 21 人 【20 歳】 171 人 【その他】 6 人

① 18 歳を選択した主な理由

- ・ 成人としての自覚、責任を持たせる機会となる。
- ・ 成年年齢が引き下げられるなら、成人式も成年年齢と合わせて開催。
- ・ 選挙権が 18 歳に引き下げられたから。 など

② 20 歳を選択した主な理由

- ・ 社会経験を踏まえ、今後の目標、決意を持ち式に臨める。
- ・ 心身ともに自立した年齢である。
- ・ 従来どおり、二十歳をひとつの節目とする。
- ・ 成年年齢の引き下げと、成人式対象年齢は別とする。
- ・ 18 歳では、進学（受験）、就職と重なり、落ち着いた気持ちで式に参加できない。
- ・ 18 歳は、大学受験、入学、新生活に向けて経済的に出費が多い時期である。 など

③ その他を選択した主な理由

- ・ 成人式は必要ない。
- ・ わからない。 など

〈質問2〉「成人式」に代わる新しい名称について

【二十歳（はたち）の集い】80人 【20歳を祝う成人の集い】63人 【その他】55人

※その他の主な意見

- ・成人式
- ・成人の集い

〈質問3〉成人式に期待することや、式のなかでやってほしいこと（主な意見）

- ・成人式は、故郷“諏訪”の素晴らしさを感じてほしい。
- ・高校時代の仲間や同窓生たちと、お互いの成長を祝う大切な式であってほしい。
- ・小学校で2分の1成人式を行っている。自分たちがどれほどの成長をしたか考える機会としてほしい。
- ・成人としての決意、目標を持ち臨んでほしい。
- ・恩師、両親、支えてくれたまわりの方々に感謝の気持ちを伝える機会としてほしい。
- ・20年間の生まれた年の出来事やその間の時事ニュースなど、当時流行った曲と一緒にスライドショーで見られるとうれしい。
- ・成人式は、地区ごと、出身中学ごとにやればどうか。
- ・成人式は必要がない。
- ・経済的な（着物が用意できない等の）理由で出られない人もいる。簡素化や1月以外の開催を検討してほしい。
- ・2022年の成人式が、3学年一緒といったことは避けてほしい。

3. 令和元年度第70回諏訪市成人式 新成人スタッフとの意見交換及びアンケート結果

(1) 新成人スタッフとの意見交換での意見（実施日：令和2年1月11日 成人式前日）

〈質問1〉成年年齢の引き下げに伴い成人式の対象年齢について何歳がよいか？

- ・昔から節目とされている年齢。大人の仲間入りといった気持ちになるので二十歳が良い。18歳は、まだ高校生。受験が控えており、成人式を楽しむことができない。
- ・受け継がれてきた伝統ある式典。二十歳で参加したい。
- ・18歳では、大人になりきれていない。まだまだ大人と子どもの分かれ目である。18歳からの2年間は、自分自身が成長する期間。二十歳になって、スーツや晴着を着て式にのぞむことで、新たに大人になったと思える。
- ・二十歳までの2年間はすごく大事だと思った。18歳では精神的に余裕がなく、この年齢だから成人式に出られる。
- ・中学から諏訪市外に出ているので、地元に戻ってくる機会がなかった。成人式は、そういう地元に戻る理由になる。二十歳の節目として式があるのはいい。
- ・18歳では進路が決まっていない人も多い。節目として二十歳が良い。高校を卒業して、地元に戻り久しぶりに友達と会えるうれしさもある。
- ・二十歳になると進路が決まってきている。学生でも、ある程度仕事などの目標が持てる。
- ・成人式は二十歳といったイメージがあり、二十歳で参加したい。精神的にも大人になれる。

〈質問2〉成人式に期待することは？

- ・式典に出ることで、自分と向き合えるのではないかと。将来のこと、親への感謝など、自分の気持ちに気がつける。
- ・久しぶりに友達と会うことができる。
- ・着物を着ることがうれしい。着物姿を親に見せることで、儀式のように大人になったことを自覚できるのではないかと。
- ・地元に戻ってくるきっかけとなる。生まれ育った諏訪に戻り、あらためて諏訪の良さを感じる。小学生の友達に会えることも楽しみである。
- ・成人式は、大人の自覚を持ち感謝を伝える機会となる。今度は自分が親孝行をする立場になりたい。

(2) 新成人スタッフからのアンケート回答結果

令和2年1月の成人式開催後、新成人スタッフ11名にアンケート調査を実施。

11名中8名から以下のとおり回答。

〈質問1〉成年年齢の引き下げに伴い成人式の対象年齢について何歳が適当に思いますか？

【18歳】1人 【20歳】7人 【その他】0人

【18歳を選択した主な理由】

- ・引き下げた年齢に合わせたほうが良いと感じます。

【20歳を選択した主な理由】

- ・今回20歳での成人式を迎えてみて、やはり20歳という年齢に意味を感じました。区切りがいいというのがありますが、これまでも自然と自分の中で20歳を区切りと感じていたところがあります。それぞれの進路選択のタイミングも含め、やはり成人式は20歳で行うことが望ましいと感じました。
- ・(成年年齢を) 変える必要はなかったと思うし18歳から20歳のこの2年間で成長がくっきりわかる。18歳の子と接する時と20歳以上の人と接する時の会話や言動など違いはあるものの、レベル自体は20歳以上の方が高いように思うから。
- ・お酒が飲め大人として語り合う場ができるため。
- ・進学など18歳だととてもいそがしいので。
- ・18歳はまだ子どもだと思えます。また、18歳で成人式を行うとセンター試験の前なので大変だと思います。 など

〈質問2〉今回の式典に出席して、故郷に対する思いは変わりましたか？

①地域の方々や自然、文化など、ふるさと諏訪の良さを実感した 4人

理由：諏訪の良さは帰省の度に感じるのですが、今回懐かしい友人と会えたこともあり、やはり自分の故郷はここだと改めて感じました。式典の運用をしていただいた職員さんを始め、温かい人が多くいることも諏訪の魅力だと新たに気づきました。

②諏訪出身の一員として、地域を盛り立てたり、ふるさとの良さを発信してゆきたい 3人

③その他 1人

理由：友人がいる諏訪市はいいなと、あらためて思った。

〈質問3〉諏訪市の成人式はどんな式典・場になれば良いと思いますか？（複数回答可）

①大人（社会の一員）としての節目を実感するもの、お世話になった方へ感謝を伝える場 5人

②友達と旧交を温めたり、互いの成長を感じるもの 6人

③その他 1人

【意見】

- ・（①②を選択し）やはりどちらも大切だと思います。今回の成人式、また同窓会ではそれらを十分に感じられる式だったので非常に楽しかったです。
- ・成人式に参加して、また自分の目標に向かって頑張ろうと思えるもの。

〈質問4〉式典のなかで「実施したら、より新成人の門出が充実したものになる」と思うものを挙げてください（複数回答可）

①著名人（芸人・スポーツ選手・アーティスト・作家など）による短い講演 5人

②スライドショーの上映 5人

③その他 4人

【意見】

- ・著名人の方で長野県出身の方が来てくださるといいなと思う。
- ・スライドショーの上映の際、新成人スタッフではなく、スタッフではない人の20歳の決意をとって上映する。
- ・諏訪市出身のオリエンタルラジオの藤森慎吾さんなど。
- ・同じ学校に行けなかった（転校やいじめなどの理由）人の居場所をもっと作ってほしい。座る場所など、他の私立中などの方も座る場所がわからず困っている人もいたので、その他という所があったらもっといい。

〈質問5〉当市では、新成人および新成人スタッフによる運営を目指しています。今回、新成人スタッフをやってみて、「こうすればもっと自分達らしい成人式になる」といったアイデアがあれば、ぜひお寄せください。

【意見】

- ・式典の雰囲気壊してしまいそうですが、エネルギーが有り余っている人もいたようなので、有志で発表会があっても面白いと思いました。
- ・それぞれの中学校やクラスの思い出の品を展示する。
- ・「スライドショーの作成」は新成人スタッフで行うと良いと思います。
- ・新成人スタッフが新成人にインタビューし、式で紹介する。今回、新成人スタッフを体験することができ良かったです。

4. 成年年齢引下げ後の成人式の実施に関するフォローアップ調査（結果）

「成年年齢引下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議 成人式の時期や在り方等に関する分科会」による全国調査。法務省が公表済。

※令和2年度実施の成人式の実施に関するフォローアップ調査において、

- 成年年齢引下げ後の成人式の対象年齢の方針が「決定している」
- 市区町村名と共に回答を公開することは「差し支えない」と回答した市区町村のみを掲載し公表。

【結果概要】

- ・令和3年1月15日現在、全国の市区町村において、成年年齢引下げ後の成人式対象年齢を18歳、19歳とする方針が決定している市区町村はない。
- ・「対象年齢を20歳または21歳を対象とする」と回答した市区町村では、その理由を「18歳の1月に成人式を開催すると、受験と重なるから」、「過去の希望調査で、20歳又は21歳で成人式の実施を希望する回答が多かったから」、「対象者が集まりやすいから」等が挙げられた。
- ・長野県内では、松本市、飯田市、須坂市、東御市、安曇野市、茅野市、軽井沢町、下諏訪町が20歳を対象とする方針を公表している。

5. 「令和4年(2022年)4月1日からの成年年齢引き下げに伴う諏訪市成人式のあり方について」

（社会教育委員意見聴取結果）

(1) 18歳または20歳で「成人を祝う・成人が集う」意義について、ご意見をお聞かせください

①「18歳」で成人を祝う・成人が集うことの意義や効果、影響について

- ・高校3年生という進学や就職等の人生の大きな岐路に立つ時に、成人という社会定義をされることは、自分の進路決定により責任を持つ自覚が生まれると思います。ただ、入学試験や高校卒業という大きな節目と重なり、卒業式と成人式が近接することは世人の意義が薄れるのではないかと懸念します。また、高校生では、ほぼ市内に在住しており、今までの離れた友との再会を楽しむというシーンは見られなくなるでしょうね。
- ・主催者側からすれば、「大人としての自覚を新たに作る」という意義であるが、当人とすれば「久しぶりの仲間との再会」が一番の目的だったりするだろう。
- ・18歳（成年）としての責任、役割、権利などを法律的にも確認していくことがタイムリーにできる。ただ、高校においても行っていることであるし、高校卒業、就職、進学の節目については、高校卒業式、上級学校への入学式、入社式などの機会に十分だと思う。
- ・成年に達した事への自覚を深め、進学、就職などこれからの人生の希望について同年の友と語り合える機会ともなる。
- ・選挙権、多額の契約等、社会的責任が生じるので、自覚する機会となると思います。高校卒業での式となり、大学進学等まだ親の応援にたよるところがあり難しいのではないかと思います。
- ・18歳はまだ高校生なので、今までの成長を祝うことはできるが、これからどのような大人になりたい

かと考え、自分の将来の姿を想像することはまだできないのではないのでしょうか。また、受験や就職活動で忙しく、それに伴い家庭の経済負担が大きい。

- ・大人として、社会人としての自己意識を持つきっかけや考える機会になる。
- ・成年年齢の引き下げにより、いくつかの責任を自らが担う事となる。大人になったという自覚を再認する機会となる。
- ・学齢年齢で行えば、ほとんどが地元在住者であるため、コロナ禍であっても集いやすく、式後の集い等での飲酒の心配をしなくても良い。
- ・現在の成人の日（1月第2月曜日）開催は進学希望者や保護者にとって日程、経費等、参加するには影響が大きい。

②「20歳」で成人を祝う・成人が集うことの意義や効果、影響

- ・進学、就職等で諏訪を離れた若者たちの久々の再会を演出できるとともに、高校卒業して各人が色々な進路を選択した2年後、より自分の将来を明確にした者、まだ漠然としている者等ある中での20歳の成人式は、再度自分を見つめなおす機会になると思います。親にとっては、高校卒業と20歳の成人式と節目が2度あった方が良いと思います。
- ・アンケートの中にもあるが、18～20歳の2年間は、就職、進学、転居などで新しい生活をする中で、悩み成長し、大人への自覚、体験ができる大事な2年間である。20歳で集うことで自分と向き合えたり、親への感謝を感じたり、諏訪の良さを改めて感じたりすることができる。
- ・学校、職場など、それぞれの場での経験が、自分の道や社会への認識を深め始めている時期、又、身辺も18歳時点より落ちついている頃なので、じっくりとこれからの生き方をみつめられる。
- ・すべての制約が無くなり社会人として、再度自覚する機会となるのでは。自分の進路もある程度把握できている時期になり、友人等同年生と意見交換できると思います。
- ・友人や温氏との再会により、今までの成長を祝い、大人としてのスタートラインに立ち、自分の将来について考えるよい機会。
- ・高校を卒業して社会の中で少し経験をするなかで、自分が1人の仁減として自覚を持ち、自分の行動や生き方に責任を持つ意識がもてる。又、親に対して感謝の思いを持つきっかけになる。
- ・従来通りであり、全ての行動等に責任を担う事となり、また広く市民に浸透している。
- ・それぞれの道を歩み始めて2年が経過し、人生における今後の目標や決意等を再確認する機会となる。
- ・20歳で成人式を開催すると成年年齢との差が生じ、それまでの2年間をどう意義付けるか当事者にとっては厳しい様に思う。一方歴史的にみても20歳での開催が多く市民には浸透しており、受け入れやすいと思う。

(2)「諏訪市の成人式に期待すること」について、18歳または20歳それぞれの場合でご意見をお聞かせください

①「18歳」の成人式に期待すること

- ・100%近い高校進学率の中で、18歳がこれからの進路選択の大きな節目であるので、自己のより良い人生設計への意欲と社会人としての自覚をもらうことができる成人式。
- ・多くの参加者は、高校卒業→新しい生活環境へと進む時期であるので、同年の仲間と共に、新しいスタートへの決意や希望を前向きに膨らませる機会となつてほしいと思う。
- ・就職や責任等、人生設計が始まる時期であることから、色々な考え方のアドバイスを聞ける式が良いと思います。

- ・高校の卒業式のようなものしかイメージできないので、特に意見はありません。
- ・18歳で成人になったことを喜ぶだけでなく、成人とはどういうものを意識して考える場にしてほしい。
- ・まだ思春期真っただ中の彼らにとって、成人とは何かを理解できるような工夫が必要だと考えます。巢立ちにエールを贈り、勇気づけられる式典となれば良いと思います

②「20歳」の成人式に期待すること

- ・18～20歳の2年間の経験をもとに、20歳になって有する権利についても確認しつつ、真に自覚的な社会人としての決意が持てるような成人式。
- ・20歳という節目の年に、これまでの年月をふり返り、又、今後の10年、20年、さらにその先の人生に思いをめぐらせ、家族、恩師、地域社会への感謝と、自分が社会とどうかかわれるかを考える機会にしてほしい。
- ・同年生の考え方、生き方等を情報共有できる式が出来れば良いと思います。
- ・式に参加した成人が「地元はいいなあ」「こんなステキな大人になりたい!」と感じてもらえる式。地元会いに満ちた内容で、新成人を地域社会の担い手として迎え入れる歓迎の場でもありたい。
- ・誰もが彼らの大人への仲間入りを祝福し、自身が責任を担い、共に生きる社会の実現を目指す決意ができる式典となる事を望みます

①②共通意見

- ・18歳にしろ、20歳の成人式にしろ該当者の参加及び意思を尊重した運営による式の開催を望みます。
- ・諏訪を離れてみて、新たに気づく地元の良さというものがある20歳であれば、市外、県外で暮らし始めた者もいるだろうが、18歳だとすると、まだまだ市内在住が多いのではないかと。20歳で成人式を行うことで、「諏訪の良さを感じ合い伝え合う」ことが期待できる。

(3) 上記(1)(2)を踏まえ、成人式に適当と思われる対象年齢及び開催時期等についてお聞かせください

【ご意見】

- ・従来通りの20歳の成人を適当と思います。開催時期については、成人の日、ゴールデンウィーク、夏休み等あるかと思いますが、特に意見はありませんが、日本伝統の着物を着る機会があることは良いと思います。18歳成人は、選挙権の交付(公職選挙法改正)に主眼があると思っています。
- ・市としての方針は？
- ・18歳の節目は、高卒後の進路選択、卒業式、入社入学式の方が有効である(ホップ)。その後の2年間の経験を経て、20歳の節目を成人式としてつくる(ステップ)ことで、真の社会人へのジャンプにつながるのではないかと考える。「もし20歳の節目を成人式としてつくらなかったら」と考えると、単に20歳が大手を振って飲酒、喫煙ができたり、競馬などができる事由が増える時という意義しかなくなるかもしれない。あえて、20歳の節目を成人式としてつくることは大切で意義があると思う。
- ・18歳で成年とはなるが、「成人式」という機会は、これまで通り20歳を対象にもたれてもよいのではないかと。本人にとっても、周囲にとっても、より意義深いものになると思う。開催時期については、5月、8月などの方が、1月より落ちついて参加できるように思う。
- ・「成人の日」は、変更されないと思うので、従来または、8月の帰省時期に20歳での実施が良いと思います。成人式の名称は変え、スタッフも20歳の人を募集し企画に参加した形で出来たら良いのではと

思います。

- ・ 適当と思われる対象年齢は 20 歳。適当と思われる開催時期は年度末の 1 月～3 月。ただし、学校教育が 9 月スタートになった場合は、変更すべき。
 - ・ 成人・成年になるとはということかについての具体的な教育・指導等はどのようになされているのでしょうか。選挙権、公民教育、消費者教育、社会参加等について少年期から成年前期の中で学校教育、社会教育を含め行政としての関わりは・・・。
 - ・ 価値観の多様化、学校教育制度、職業を含む勤務形態の変化、多様化の中で将来を見据えてのあり方、皆に良い方法を見つけることは容易ではないと思われます。
 - ・ 18 歳をもって実施するのは、社会の一員としての自覚と責任を認識し、深める効果はあると思います（少年法は 20 歳ですが）。
 - ・ 交通事情の悪い凍結、降雪時は避けたほうがよろしいのではと思います。
 - ・ 20 歳の成人式が良いと思います。18 歳だと判断力や責任をとる力に欠けていると思います。大学や、社会で働くなど経験をしてからのほうがより大人としての自覚が持てると思います。外国（ヨーロッパやアメリカ等）の教育と、日本の教育は違う部分があると思います。教育、親からの自立等も考える必要があると思います。
 - ・ 成人式は対象年齢や成人式の期日や成人式の実施については、法律に定められているわけではなく各自治体の自由裁量である。やらないという選択肢もあるわけである。従来は行政側の意図するものとは異なり、すでにいろいろな場所で生活している方々が久しぶりに一つの場所に集合しての大型同級会的な色が強い。従って 18 歳では高校在学中あるいは昨日まで一緒にしていた友人や知人、転居や就職で諏訪に来られている方も少ないように思う。
20 歳くらいになれば、ある程度個人の生き方に個性が出てきて、出会いによって自分の立ち位置の確認や立ち位置の異なる人、自立している人からの刺激も大きい。同級会でも 18 歳での同級会より 20 歳での同級会の方がメリット、刺激は大きいと思う。成人式も同様である。成人式の名称も一考する必要がある。
- 違う観点からだと、18 歳にすれば開催期日の 1 月 15 日は適当でない。従来成人式を見れば、豪華な着物姿が多いが、経済能力に欠け、自分で用意することができない。
- いろいろな面で格差が出てくる。20 歳くらいになれば経済意識や自分で用意できる方もいる。お盆成人式の考え方も一理ある。一方で業界からの圧力もあることは理解できる。
- 最後に、成人式の担当部局は教育委員会、首長部局どちらが担当してもよいと思うが、実施主体実行部隊は実行委員会による開催が望ましい。
- ・ 自身の 18 歳の頃を思うと、思春期真ただ中、心身ともに未成熟だったと思います。当事者達のアンケート結果をみても成人式は 20 歳とするのが良いと考えます。開催時期は 1 月の成人の日は年始休み明けから就業や授業の再開、期末試験の直前の時期に当たり、社会人にとっても学生にとっても地元を離れている場合は帰省の負担が増えます。1 月にこだわらず 3 月末や 5 月連休等も候補にしても良いと思います。なにより、当事者達の思いを大切にしつつ、「式典」の意義も大事にしたいと思います。